

## 府・国・地研関連事業

### 1) 感染症発生動向調査事業

大阪府・大阪市・堺市・東大阪市・高槻市・豊中市・枚方市の協力のもと実施している事業であり、大きく全数把握対象疾患と定点把握対象疾患に分けられる。把握対象疾患の患者情報は大阪府内の指定届出機関（定点）から収集されたデータを、厚生労働省からの全国情報とともに感染症情報センターで検討し、感染症情報解析評価委員会（小委員会）に報告した。平成 26 年の指定機関数は、インフルエンザ定点 309・小児科定点 201・眼科定点 52・STD 定点 66 および基幹定点 18 であった。これらのデータは、保健所・府内の各市町村・定点へ還元し、当所のホームページに掲載し府民に広く提供した。

また、定点把握対象疾患の病原体サーベイランスとして、府内の定点医療機関から依頼のあった 833 検体について感染症部において病原体検索を行い、結果を速やかに還元するように努めた。検査結果のまとめは、感染症発生動向調査事業報告書第 33 報（平成 26 年版）に掲載される。（文責：西村）

### 2) 厚生労働省感染流行予測調査事業

#### (1) 麻疹ウイルスの抗体保有調査

昨年度に引き続き、本年度も 264 名を対象に麻疹ウイルスに対する抗体価を測定し、抗体保有率を求めた。1:16 以上を PA 抗体陽性とする年齢群別抗体保有率は、0-1 才児 52.4%（11/21）、2-3 才児では 100%（22/22）、4-9 才児では 95.5%（21/22）であり、第 1 期および 2 期の定期接種が適切になされていると考えられた。10 才以上の年齢層での抗体保有率は 98.5%で、いずれの年代も集団免疫に必要な 95%を上回っていた。

（主担：倉田、上林）

#### (2) 水痘の抗体保有調査

2014 年は上記の調査に加えて、水痘の抗体保有調査も行った。抗体価の測定は酵素免疫法（EIA 法）で行い、EIA 価で 4 以上を陽性とする年齢群別抗体保有率は、0-1 才児 14.3%（3/21）、2-3 才児では 13.6%（3/22）、4-9 才児では 77.3%（17/22）、10 代は 89.5%（34/38）、20 代は 89.5%（51/57）、30 代、40 代はいずれも

100%（32/32、38/38）で 50 代以上は 94.1%（32/34）であった。10 代～20 代でもおよそ 10%が抗体を保有しておらず、成人での水痘罹患のリスクがあることが分かった。また、水痘ワクチンの定期接種が 2014 年 10 月から開始されたため、来年度以降、低年齢層で低い抗体保有率が大きく変化することが予想され、今後も継続的に調査を行う必要がある。（主担：倉田、上林）

#### (3) 日本脳炎感受性調査

2014 年度に実施した調査では、0 歳から 62 歳までの計 264 人について日本脳炎ウイルスに対する血清中の中和抗体価を測定した結果、37.9%（100 名）が陰性（10 倍未満）であった。日本脳炎ワクチン定期接種の勧奨接種が中止していた 2005～2010 年に接種年齢であったと思われる 9～15 歳の抗体保有率は 88.9%（24/27 名）であった。この年代については平成 25 年度まで定期接種の経過措置がとられたが、それでも 1 期もしくは 2 期接種を受けていないか、接種回数が不足している場合があると考えられた。また 50 代の抗体保有率は 17.4%（4/23 名）で、この年代では日本脳炎への防御力が弱くなっていると考えられた。

（主担：小川、弓指）

### 3) 病原性微生物検出情報への協力

国立感染症研究所が月報として発行する病原微生物検出情報に参画し、細菌及びウイルス検出情報を提供した。

### 4) 地方衛生研究所全国協議会における活動

所長は理事を務め、平成 26 年度に開催された総会、理事会は下記の通りである。

#### ・臨時総会

日 時：平成 26 年 6 月 6 日（金）午前 10 時～11 時  
30 分

場 所：東京都健康安全研究センター 本館 6 階会議室（東京都新宿区）

#### ・総会

日 時：平成 26 年 11 月 4 日（火）午後 1 時 30 分～5 時

場 所：栃木県総合文化センター 3階第1会議室（栃木県宇都宮市）

・第1回理事会・第1回ブロック長会議（総務委員会合同）

日 時：平成26年5月7日（水）午後2時30分～

場 所：東京都健康安全研究センター 本館6階会議室（東京新宿区）

・第2回理事会（総務委員会合同）

日 時：平成26年8月29日（金）午後2時30分～5時30分

場 所：東京都健康安全研究センター 本館6階会議室（東京新宿区）

・第2回ブロック長会議

日 時：平成27年1月26日（月）午前10時30分～12時

場 所：東京都健康安全研究センター 本館6階会議室（東京新宿区）

#### 5) 地研全国協議会近畿支部における活動

所長が支部長を務め、下記の事業が行なわれた。

・第1回支部総会

日 時：平成26年5月20日（月）午後2時30分～午後5時

場 所：大阪府立公衆衛生研究所 中会議室（大阪府大阪市）

・第1回近畿ブロック会議及び第2回支部総会

日 時：平成26年7月24日（木）午後1時～午後5時

場 所：姫路市中央保健センター 5階応接室（兵庫県姫路市）

・第2回近畿ブロック会議及び第3回支部総会

日 時：平成27年1月13日（火）午後1時～午後5時

場 所：大阪府立公衆衛生研究所 中会議室（大阪府大阪市）

・第1回支部役員会

日 時：平成26年7月10日（木）午後3時～午後5時30分

場 所：大阪府立公衆衛生研究所 中会議室（大阪府大阪市）

（文責：木村）

#### 6) 地研全国協議会近畿支部の部会活動

##### 【疫学情報部会】

平成26年12月12日（金）、京都市産業技術研究所多目的ホールにおいて地研近畿支部疫学情報部会研究会が開催された。

部会長である川上雅弘京都市衛生環境研究所所長および近畿支部長である当所所長の挨拶で開始された研究会は、以下の内容で行なわれた。

1 平成26年度地域保健総合推進事業に係る近畿ブロック

「精度管理事業」検証会

総括（報告）：平河 勝美（京都市衛生環境研究所）

2 特別講演

座長：北堀 吉映（奈良県保健研究センター）

「SFTS に関して」

宇田 晶彦

（国立感染症研究所 獣医科学部第三室 主任研究官）

3 一般演題

座長：米谷 竹史（東大阪史環境衛生検査センター）

1) 「オセルタミビル耐性インフルエンザ (H1N1)2009 を検出した奈良県内集団感染事例について」

○米田 正樹, 杉本 大地, 川辺 千明, 稲田 眞知, 中野 守, 北堀 吉映 （奈良県保健研究センター）

2) 「デング熱及びチクングニア熱を媒介するヒトスジシマカの採集について」

○池永 充宏, 伊藤 隆起, 北村 喜一

（京都市衛生環境研究所）

4 教育講演

座長：川上 雅弘（京都市衛生環境研究所長）

「実地疫学に関して」

池田 雄史 （京都市下京保健センター 担当課長）

5 感染症情報センター意見交換会

「グループワーク」

ファシリテータ：鈴木 智之

（滋賀県衛生科学センター）

（文責：木村）

##### 【細菌部会】

平成26年10月24日に第41回地方衛生研究所全国協議会近畿支部細菌部会研究会が滋賀県庁で開催された。当所から7名が参加した。研究会の内容は以下のとおりであった。

- ・地衛研全国協議会報告
- ・衛生微生物技術協議会報告（資料報告）

結核、カンピロバクター、レジオネラ、ボツリヌス、動物由来感染症、レンサ球菌、ジフテリア・百日咳、リケッチア、大腸菌の各レファレンスセンター会議報告および検査情報委員会報告

- ・情報交換「結核菌 VNTR 解析について」
- ・一般演題 9 題
- ・特別講演

「病原細菌タイピングの疫学利用 ―腸管出血性大腸菌の DNA タイピング―」

国立感染症研究所 細菌第一部長 大西真

(文責：田丸)

#### 【ウイルス部会】

平成 26 年 10 月 3 日(金)、神戸市役所危機管理センター 1 階本部員会議室において地研近畿支部ウイルス部会研究会が開催された。

部会長である神戸市環境保健研究所の飯島義雄所長及び地研近畿支部長山本容正大阪府立公衆衛生研究所長の挨拶のあと、以下のプログラムで進行した。

- ・ウイルス感染症等に関するレファレンス報告 8 題
- ・ウイルス情報交換会 7 題
- ・一般演題 4 題
- ・トピックス 風疹と麻疹の最近の話題 ～先天性風疹

症候群と麻疹の輸入症例～

大阪府立公衆衛生研究所 倉田貴子

- ・特別講演 海外で流行する昆虫媒介性ウイルス感染症と国内流行リスク

国立感染症研究所 高崎智彦

講演終了後、神戸市環境保健研究所都倉亮道感染症部長の閉会の挨拶をもって終了した。

(文責：弓指)

#### 【理化学部会】

平成 26 年 7 月 16 日に兵庫県立健康生活科学研究所で開催された平成 26 年度地研全国協議会近畿支部理化学部会世話人会に当研究所から 1 名が出席し、26 年度近畿支部理化学部会の企画および研修会開催日などについて調整した。また、「残留農薬等の試験に適用される分析法の妥当性評価ガイドラインへの対応状況」、「農薬標準品の整備体制」、「試薬等の管理状況」等について意見交換した。

平成 26 年 11 月 28 日に平成 26 年度近畿支部理化学部会研修会が神戸市勤労会館で開催された(参加者 58 名)。研修会では、特別講演として独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構の鈴木彌生子氏による講演が行われた(講演題目：安定同位体比分析および微量元素分析を用いた食品の産地判別技術の開発)。また、記念講演 2 題と 5 題の一般発表、事例発表が行われた。

(文責：梶村)